



初中タイムス

令和元年度 第6号
初島中学校学校通信
R1、6、18発行
発行者 植村 由香

修学旅行part②

3日間の修学旅行では、学校では学べない数多くのことを体験してきたことでしょう。感想の一部を紹介します。

・東京に行って驚いたことは、人の多さと建物の高さです。和歌山に住んでいたら、人のいない道や場所はよく見るけど、東京はどこに行っても人ばかりいてすごく驚きました。また、新幹線で東京へ近づいて行くにつれて、窓から見える建物がどんどん大きくなって行って楽しかったです。

修学旅行はいつもの授業とは違い、実際に東京という大都会に出て社会のルールやマナーを学ぶことができました。慣れない場所でクラスの人々と協力しながら行動できて、大変だったけどすごく楽しかったです。(女子)

・修学旅行を終えて思ったこと、思い出に残ったことはいくつかあります。1つ目は、やはり人の多さです。分かってはいましたが、首都ということもあり、とても人の量が多く、いつも満員電車状態でした。何回も電車やモノレールにりましたが、毎回毎回混んでいて、滅多に座ることができませんでした。

この3日間を楽しく過ごせたのは、東京だからというだけでなく、クラスみんなで笑い合いながら過ごせたからだと思いました。3日間というのはすごく短かったですが、このことを忘れないように思い出としてしまっておきたいと思いました。(男子)

・実際、東京の町を歩いていても周りはビルだらけで、僕の見慣れた山はまったくありませんでした。他にもたくさんの違いを見つけることができました。若い人が多かったり、ちょっとしたマナーの違いなど、予想以上に東京はすごい場所でした。また東京に行ける機会があるなら、もう少しゆっくり、そしてもっと多くの場所に足を運んでみたいと思いました。(男子)



・東京の駅は広く、人が多く、電車にはたくさんの方が乗っていて、初島駅とは違うなと思った。東京の人は冷たい人が多いのかなと思った。電車で、高齢者が入ってきても席をゆずった人を見なかった。班別研修のゆりかもめでは座っていたけど、高齢者の方が数人入ってきたので、席をゆずった。先に降りたので、降りるときお礼を言ってもらった。(女子)



「赤い羽根共同募金事業」より図書の寄贈がありました

本年度も、有田市共同募金委員会より「赤い羽根共同募金事業」による図書の寄贈があり、たくさんの方が図書室に並べられました。中でも、「走れ！T校バスケット部」や「おもしろくても理科」、「花の鎖」、「髪がつかぬ物語」などARIDAブックグランプリ2018で選ばれた本など良書がたくさんです。

生徒の皆さん、一度借りてみませんか？



教育実習

6月10日(月)から28日(金)の3週間、本校卒業生で武庫川女子大学の^{まっり}中本菜理実習生が国語科で教育実習をしています。3週間は短いと思いますが、将来のために実のある実習にしてほしいと思います。

【中本実習生】武庫川女子大学から参りました。6年前に初島中学校を卒業し、今こうして母校で教育実習ができたことをうれしく思います。先生方の授業や生徒のみなさんとのコミュニケーションの取り方を見て学び、まだ歳の近い者として出せる力は全て出すこと、またそれを受け取ってもらえるようになることを目指して、この3週間を大切に過ごしたいです。

